

## 地域高規格道路「館山・鴨川道路」の早期実現を求める意見書

道路は、社会インフラの根幹を成すものであり、輸送や移動など本来の機能に加え、産業、情報、観光、防災、人口対策など経済の発展や地域の活性化に欠かせない最大の要素である。その意味では道路整備の遅れは地域社会の発展を阻害する最大のマイナス要因と言える。

現在、南房総地域の道路体系は、東京湾アクアライン、首都圏中央連絡自動車道、東関東自動車道館山線を初めとした高規格幹線道路網の整備や関連する国道や県道等の整備促進により、半島性の解消が図られつつあり、観光客の増加など、地域経済へ波及効果をもたらしている。

しかしながら、私たちが住む安房地域、とりわけ外房地域にある本市は、茂原から館山間に地域高規格道路の計画はあるものの、大原から館山に至る区間は、未だに事業化がされず、その恩恵を受けているとは言い難い状況にある。

今後、その発生が懸念されている巨大地震や、それに伴う津波対策を初めとする災害に強いまちづくり、また、本地域が抱える少子高齢化や人口減少化、地域経済の衰退化など課題が山積する中、本市では、地方創生への取組とともに、2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機に「住んで良し、訪れて良しのまちづくり」の推進に取り組んでいるが、これらを具現化するためには、他地域との連携や交流を支える地域高規格道路の整備は必要不可欠である。

よって、国や県においては、国道127号富津館山道路から外房地域に繋がる地域高規格道路の計画路線となっている「館山・鴨川間」の早期実現のため、道路予算の確保など、特段の配慮をされるよう要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成29年12月21日

千葉県鴨川市議会

衆議院議長 大島 理森 殿  
参議院議長 伊達 忠一 殿  
内閣総理大臣 安倍 晋三 殿  
財務大臣 麻生 太郎 殿  
総務大臣 野田 聖子 殿  
国土交通大臣 石井 啓一 殿  
千葉県知事 鈴木 栄治 殿

## 地域高規格道路「館山・鴨川道路」の早期実現を求める意見書

道路は、社会インフラの根幹を成すものであり、輸送や移動など本来の機能に加え、産業、情報、観光、防災、人口対策など経済の発展や地域の活性化に欠かせない最大の要素である。その意味では道路整備の遅れは地域社会の発展を阻害する最大のマイナス要因と言える。

現在、南房総地域の道路体系は、東京湾アクアライン、首都圏中央連絡自動車道、東関東自動車道館山線を初めとした高規格幹線道路網の整備や関連する国道や県道等の整備促進により、半島性の解消が図られつつあり、観光客の増加など、地域経済へ波及効果をもたらしている。

しかしながら、私たちが住む安房地域、とりわけ外房地域にある本市は、茂原から館山間に地域高規格道路の計画はあるものの、大原から館山に至る区間は、未だに事業化がされず、その恩恵を受けているとは言い難い状況にある。

今後、その発生が懸念されている巨大地震や、それに伴う津波対策を初めとする災害に強いまちづくり、また、本地域が抱える少子高齢化や人口減少化、地域経済の衰退化など課題が山積する中、本市では、地方創生への取組とともに、2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機に「住んで良し、訪れて良しのまちづくり」の推進に取り組んでいるが、これらを具現化するためには、他地域との連携や交流を支える地域高規格道路の整備は必要不可欠である。

よって、国や県においては、国道127号富津館山道路から外房地域に繋がる地域高規格道路の計画路線となっている「館山・鴨川間」の早期実現のため、道路予算の確保など、特段の配慮をされるよう要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成29年12月21日

千葉県鴨川市議会

衆議院議長 大島 理森 殿

## 地域高規格道路「館山・鴨川道路」の早期実現を求める意見書

道路は、社会インフラの根幹を成すものであり、輸送や移動など本来の機能に加え、産業、情報、観光、防災、人口対策など経済の発展や地域の活性化に欠かせない最大の要素である。その意味では道路整備の遅れは地域社会の発展を阻害する最大のマイナス要因と言える。

現在、南房総地域の道路体系は、東京湾アクアライン、首都圏中央連絡自動車道、東関東自動車道館山線を初めとした高規格幹線道路網の整備や関連する国道や県道等の整備促進により、半島性の解消が図られつつあり、観光客の増加など、地域経済へ波及効果をもたらしている。

しかしながら、私たちが住む安房地域、とりわけ外房地域にある本市は、茂原から館山間に地域高規格道路の計画はあるものの、大原から館山に至る区間は、未だに事業化がされず、その恩恵を受けているとは言い難い状況にある。

今後、その発生が懸念されている巨大地震や、それに伴う津波対策を初めとする災害に強いまちづくり、また、本地域が抱える少子高齢化や人口減少化、地域経済の衰退化など課題が山積する中、本市では、地方創生への取組とともに、2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機に「住んで良し、訪れて良しのまちづくり」の推進に取り組んでいるが、これらを具現化するためには、他地域との連携や交流を支える地域高規格道路の整備は必要不可欠である。

よって、国や県においては、国道127号富津館山道路から外房地域に繋がる地域高規格道路の計画路線となっている「館山・鴨川間」の早期実現のため、道路予算の確保など、特段の配慮をされるよう要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成29年12月21日

千葉県鴨川市議会

参議院議長 伊達 忠一 殿

## 地域高規格道路「館山・鴨川道路」の早期実現を求める意見書

道路は、社会インフラの根幹を成すものであり、輸送や移動など本来の機能に加え、産業、情報、観光、防災、人口対策など経済の発展や地域の活性化に欠かせない最大の要素である。その意味では道路整備の遅れは地域社会の発展を阻害する最大のマイナス要因と言える。

現在、南房総地域の道路体系は、東京湾アクアライン、首都圏中央連絡自動車道、東関東自動車道館山線を初めとした高規格幹線道路網の整備や関連する国道や県道等の整備促進により、半島性の解消が図られつつあり、観光客の増加など、地域経済へ波及効果をもたらしている。

しかしながら、私たちが住む安房地域、とりわけ外房地域にある本市は、茂原から館山間に地域高規格道路の計画はあるものの、大原から館山に至る区間は、未だに事業化がされず、その恩恵を受けているとは言い難い状況にある。

今後、その発生が懸念されている巨大地震や、それに伴う津波対策を初めとする災害に強いまちづくり、また、本地域が抱える少子高齢化や人口減少化、地域経済の衰退化など課題が山積する中、本市では、地方創生への取組とともに、2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機に「住んで良し、訪れて良しのまちづくり」の推進に取り組んでいるが、これらを具現化するためには、他地域との連携や交流を支える地域高規格道路の整備は必要不可欠である。

よって、国や県においては、国道127号富津館山道路から外房地域に繋がる地域高規格道路の計画路線となっている「館山・鴨川間」の早期実現のため、道路予算の確保など、特段の配慮をされるよう要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成29年12月21日

千葉県鴨川市議会

内閣総理大臣 安倍 晋三 殿

## 地域高規格道路「館山・鴨川道路」の早期実現を求める意見書

道路は、社会インフラの根幹を成すものであり、輸送や移動など本来の機能に加え、産業、情報、観光、防災、人口対策など経済の発展や地域の活性化に欠かせない最大の要素である。その意味では道路整備の遅れは地域社会の発展を阻害する最大のマイナス要因と言える。

現在、南房総地域の道路体系は、東京湾アクアライン、首都圏中央連絡自動車道、東関東自動車道館山線を初めとした高規格幹線道路網の整備や関連する国道や県道等の整備促進により、半島性の解消が図られつつあり、観光客の増加など、地域経済へ波及効果をもたらしている。

しかしながら、私たちが住む安房地域、とりわけ外房地域にある本市は、茂原から館山間に地域高規格道路の計画はあるものの、大原から館山に至る区間は、未だに事業化がされず、その恩恵を受けているとは言い難い状況にある。

今後、その発生が懸念されている巨大地震や、それに伴う津波対策を初めとする災害に強いまちづくり、また、本地域が抱える少子高齢化や人口減少化、地域経済の衰退化など課題が山積する中、本市では、地方創生への取組とともに、2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機に「住んで良し、訪れて良しのまちづくり」の推進に取り組んでいるが、これらを具現化するためには、他地域との連携や交流を支える地域高規格道路の整備は必要不可欠である。

よって、国や県においては、国道127号富津館山道路から外房地域に繋がる地域高規格道路の計画路線となっている「館山・鴨川間」の早期実現のため、道路予算の確保など、特段の配慮をされるよう要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成29年12月21日

千葉県鴨川市議会

財 務 大 臣 麻 生 太 郎 殿

## 地域高規格道路「館山・鴨川道路」の早期実現を求める意見書

道路は、社会インフラの根幹を成すものであり、輸送や移動など本来の機能に加え、産業、情報、観光、防災、人口対策など経済の発展や地域の活性化に欠かせない最大の要素である。その意味では道路整備の遅れは地域社会の発展を阻害する最大のマイナス要因と言える。

現在、南房総地域の道路体系は、東京湾アクアライン、首都圏中央連絡自動車道、東関東自動車道館山線を初めとした高規格幹線道路網の整備や関連する国道や県道等の整備促進により、半島性の解消が図られつつあり、観光客の増加など、地域経済へ波及効果をもたらしている。

しかしながら、私たちが住む安房地域、とりわけ外房地域にある本市は、茂原から館山間に地域高規格道路の計画はあるものの、大原から館山に至る区間は、未だに事業化がされず、その恩恵を受けているとは言い難い状況にある。

今後、その発生が懸念されている巨大地震や、それに伴う津波対策を初めとする災害に強いまちづくり、また、本地域が抱える少子高齢化や人口減少化、地域経済の衰退化など課題が山積する中、本市では、地方創生への取組とともに、2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機に「住んで良し、訪れて良しのまちづくり」の推進に取り組んでいるが、これらを具現化するためには、他地域との連携や交流を支える地域高規格道路の整備は必要不可欠である。

よって、国や県においては、国道127号富津館山道路から外房地域に繋がる地域高規格道路の計画路線となっている「館山・鴨川間」の早期実現のため、道路予算の確保など、特段の配慮をされるよう要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成29年12月21日

千葉県鴨川市議会

総務大臣 野田 聖子 殿

## 地域高規格道路「館山・鴨川道路」の早期実現を求める意見書

道路は、社会インフラの根幹を成すものであり、輸送や移動など本来の機能に加え、産業、情報、観光、防災、人口対策など経済の発展や地域の活性化に欠かせない最大の要素である。その意味では道路整備の遅れは地域社会の発展を阻害する最大のマイナス要因と言える。

現在、南房総地域の道路体系は、東京湾アクアライン、首都圏中央連絡自動車道、東関東自動車道館山線を初めとした高規格幹線道路網の整備や関連する国道や県道等の整備促進により、半島性の解消が図られつつあり、観光客の増加など、地域経済へ波及効果をもたらしている。

しかしながら、私たちが住む安房地域、とりわけ外房地域にある本市は、茂原から館山間に地域高規格道路の計画はあるものの、大原から館山に至る区間は、未だに事業化がされず、その恩恵を受けているとは言い難い状況にある。

今後、その発生が懸念されている巨大地震や、それに伴う津波対策を初めとする災害に強いまちづくり、また、本地域が抱える少子高齢化や人口減少化、地域経済の衰退化など課題が山積する中、本市では、地方創生への取組とともに、2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機に「住んで良し、訪れて良しのまちづくり」の推進に取り組んでいるが、これらを具現化するためには、他地域との連携や交流を支える地域高規格道路の整備は必要不可欠である。

よって、国や県においては、国道127号富津館山道路から外房地域に繋がる地域高規格道路の計画路線となっている「館山・鴨川間」の早期実現のため、道路予算の確保など、特段の配慮をされるよう要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成29年12月21日

千葉県鴨川市議会

国土交通大臣 石井 啓一 殿

## 地域高規格道路「館山・鴨川道路」の早期実現を求める意見書

道路は、社会インフラの根幹を成すものであり、輸送や移動など本来の機能に加え、産業、情報、観光、防災、人口対策など経済の発展や地域の活性化に欠かせない最大の要素である。その意味では道路整備の遅れは地域社会の発展を阻害する最大のマイナス要因と言える。

現在、南房総地域の道路体系は、東京湾アクアライン、首都圏中央連絡自動車道、東関東自動車道館山線を初めとした高規格幹線道路網の整備や関連する国道や県道等の整備促進により、半島性の解消が図られつつあり、観光客の増加など、地域経済へ波及効果をもたらしている。

しかしながら、私たちが住む安房地域、とりわけ外房地域にある本市は、茂原から館山間に地域高規格道路の計画はあるものの、大原から館山に至る区間は、未だに事業化がされず、その恩恵を受けているとは言い難い状況にある。

今後、その発生が懸念されている巨大地震や、それに伴う津波対策を初めとする災害に強いまちづくり、また、本地域が抱える少子高齢化や人口減少化、地域経済の衰退化など課題が山積する中、本市では、地方創生への取組とともに、2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機に「住んで良し、訪れて良しのまちづくり」の推進に取り組んでいるが、これらを具現化するためには、他地域との連携や交流を支える地域高規格道路の整備は必要不可欠である。

よって、国や県においては、国道127号富津館山道路から外房地域に繋がる地域高規格道路の計画路線となっている「館山・鴨川間」の早期実現のため、道路予算の確保など、特段の配慮をされるよう要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成29年12月21日

千葉県鴨川市議会

千葉県知事 鈴木 栄治 殿